

効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築に関する研究

研究分担者 吉岡健太郎 藤田保健衛生大学 肝胆膵内科 教授

研究要旨：岡崎市の肝炎ウイルス検査陽性者を対象に毎年行い、肝炎ウイルス検査陽性者が医療機関を受診していない理由を明らかにできた。アンケート調査は受診勧奨を兼ねており、医療機関受診率を向上させることができた。
肝炎ウイルス検査陽性者の受診率向上のため、岡崎市保健所では初診予約支援を行うことにより「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を促進するシステムを構築した。個人情報および通し番号と個人の連結表は岡崎市保健所が管理し、当研究班の班員は、個人情報をみることはできないように工夫した。

A. 研究目的

平成 14 年より肝炎ウイルスの無料検査が行われ、多くの肝炎ウイルス感染者が発見されている。しかしこれらの肝炎ウイルス感染者がその後適切な検査を受け、適切に治療されているかは十分に検討されていない。むしろ肝炎ウイルス陽性であることが見つかったのに、そのうちの一部しか適切な診断や治療を受けていないという報告がある。ウイルス性肝炎の治療法が著明に進歩した現状において、適切な治療を受けていない人がいることは、重大な問題である。

そこで岡崎市で行われた肝炎ウイルスの無料検査（平成 20 年～25 年）の検診陽性者に平成 24 年からアンケートを送付し、その後の対応について毎年調査している。25 年度からは調査票に通し番号を振り、岡崎市保健所では個人識別ができるようにし、保健所ではアンケート調査の結果によって、直接個人に受診勧奨を行うことができるようにした。27 年度からは C 型肝炎陽性者に受診、受療を強く促す資料を添付した。28 年度からは C 型肝炎陽性者に受診、受療を強く促す資料を添付した。

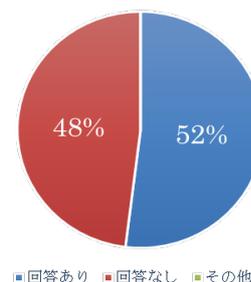
B. 研究方法および結果

1. B 型肝炎

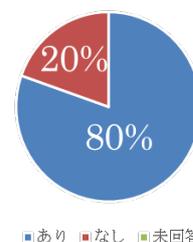
平成 20～27 年度肝炎ウイルス検診受診者のうち、B 型肝炎ウイルス陽性者(254 名)について

は、アンケート回収率は 52%(132 名)であり、そのうち医療機関を受診した人は 80%(94 名)であった。

肝炎ウイルス検診陽性者アンケート回収率
N=254

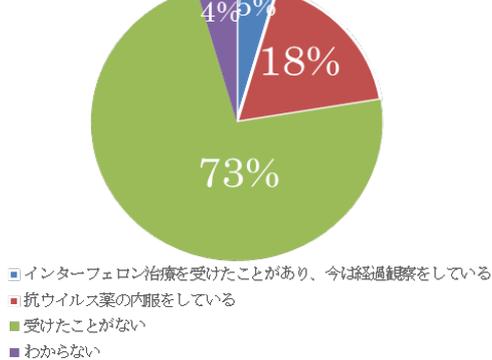


肝炎専門医療機関受診の有無
(B型肝炎 平成20～27年度検診受診者
N=117)



現在の治療状況は、インターフェロン治療を受けたことがあり、今は経過観察をしている人が 5%(3 名)、抗ウイルス薬の内服をしている 18%(12 名)、治療を受けたことがない人が 73%(49 名)であった。

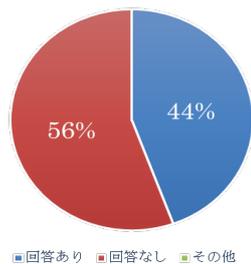
現在の治療状況
(B型肝炎 平成20～26年度検診
受診者 N=67)



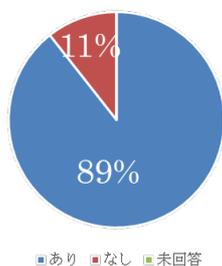
2.C 型肝炎

平成20～27年度肝炎ウイルス検診受診者受診者のうち、C型肝炎ウイルス陽性者(153名)については、アンケート回収率は44%(68名)であり、そのうち医療機関を受診した人は89%(59名)であった。

肝炎ウイルス検診陽性者アンケート回収率
N=153



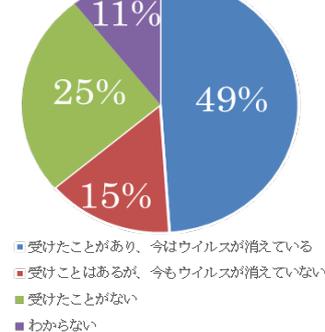
肝炎専門医療機関受診の有無
(C型肝炎 平成20～27年度検診受診者
N=66)



現在の治療状況は、治療を受けたことがあり、今はウイルスが消えている人49%(23名)、治

療を受けことはあるが、今もウイルスが消えていない人は15%(7名)、治療を受けたことがない人が25%(12名)、分からない人が11%(5名)であった。

現在の治療状況
(C型肝炎 平成20～27年度検診
受診者 N=47)



C. 結論

回答が得られた患者の治療状況については、B型肝炎ウイルス陽性者では抗ウイルス薬の内服をしている18%、治療を受けたことがない人が73%であった。これは一般的な健康キャリアの割合にほぼ一致しており、大部分の人が適正な診療を受けていると思われた。

一方C型肝炎ウイルス検査陽性者では治療によりウイルスが消えている人が49%であるが、治療を受けたことはあるが、今もウイルスが消えていない人が15%、治療を受けたことがない人が25%であり、適切な治療を受ける必要のある患者が40%程度残っていた。

アンケート調査に回答した患者では医療機関を受診した人の割合は、B型80%、C型89%と高いものの、回答率はそれぞれ52%、44%と低率であり、個別の対応が必要と思われた。

岡崎市保健所では、これまでのアンケート調査の結果を踏まえて28年度から新たに見つかった肝炎ウイルス陽性者については、結果報告後2から4週間以内に「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を呼び掛ける手紙を郵送している。フォローアップ事業への参加を承諾すると初回精密検査医療費助成が受けられることを伝え、助成希望者には保健所長名

で岡崎市民病院と安城厚生病院への紹介状を作成し、初診予約支援をしている。このシステムについては、当該病院および岡崎市医師会の承認を得ている。平成 28 年 10 月 30 日現在肝炎ウイルス検査陽性者 31 名のうち 15 名がフォローアップ事業への参加に同意し、13 名が病院受診をしている。このように肝炎ウイルス陽性の検査結果報告後ただちにフォローアップ事業への参加を促し、医療機関への初診予約支援をすることによりフォローアップ同意率、肝疾患専門病院受診率は向上している。

過去の肝炎ウイルス検査の陽性者については、アンケート調査の結果から、個別に直接受診を促すことにより、受診、受療率の向上が期待できると思われる。

D. 研究発表(本研究に関わるもの)

1. 論文発表

該当事項なし

2. 学会発表

国内学会

1. 相崎英樹；ワークショップ 3.C 型肝炎撲滅に向けた地域の取り組み.自治体における肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築.第 41 回日本肝臓学会東部会；東京都・京王プラザホテル 2016/12/8-9 肝臓:2016;57(suppl. 3):27

E. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当事項なし

2. 実用新案登録

該当事項なし

3. その他

該当事項なし